

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 東

上場会社名 日本精鉱

コード番号 5729 URL <http://www.nihonseiko.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 岩山 統

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画管理部長

(氏名) 鳩川 勝美

TEL 03-3235-0021

四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	2,391	—	146	—	149	—	70	—
20年3月期第1四半期	2,515	23.4	232	28.4	235	36.7	86	42.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
21年3月期第1四半期	5.46	—	—	—
20年3月期第1四半期	6.63	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
21年3月期第1四半期	7,145		3,747		52.4	288.86		
20年3月期	7,265		4,474		51.2	286.81		

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 3,747百万円 20年3月期 3,721百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期連結累計期間	4,900	—	385	—	390	—	210	—	16.18	
通期	10,200	4.3	855	14.4	860	20.4	470	81.5	36.22	

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社(社名)) 除外 一社(社名))

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 13,029,500株 20年3月期 13,029,500株

② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 54,571株 20年3月期 53,507株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 12,975,032株 20年3月期第1四半期 12,985,853株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 平成20年5月15日に公表しました連結業績予想の修正は行っていません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(2) 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第1四半期におけるわが国経済は、原油を始めとする世界的な資源価格の高騰が製造業の収益を圧迫し、また景気の牽引役であった輸出もサブプライム・ローン問題に端を発した米国経済低迷の長期化により鈍化の傾向が見られるようになるなど、景気の先行きに不透明感が広がってまいりました。

当社グループを取り巻く環境も、世界的な景気の減速の影響を受け、特に金属粉末事業に販売数量の減少が見られました。

このような状況の下、当第1四半期の売上高は前年同期比123百万円減少（4.9%減少）の2,391百万円、営業利益は85百万円減少（36.7%減少）の146百万円、経常利益は85百万円減少（36.3%減少）の149百万円、四半期純利益は15百万円減少（17.7%減少）の70百万円で、前年同期比減収減益という結果となりました。

事業セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

原料であるアンチモン地金の国際相場は、前年度第1四半期の平均がトン当たり\$5,470、本年3月が\$5,893であったのに対して、当第1四半期平均は\$6,269と、上昇傾向が続いております。

同事業の当第1四半期の販売数量は、生産設備の増強を行ったアンチモン酸ソーダの増販もあり、前年同期比約3%の増加となりました。しかし、売上高は、地金相場が上述のとおりドル建てでは上昇したものの、本年初めからの円高の影響によりほぼ前年同期と同額の1,368百万円の計上となりました。営業利益は、販管費の減少があったものの、設備増強に伴う減価償却費の増加並びに原燃料価格の上昇による加工費の増加等により、前年同期比2.5%減少の71百万円の計上にとどまりました。

[金属粉末事業]

同事業の当第1四半期の販売数量は、最終需要家である自動車電装機器市場及び電子部品市場ともに世界的な景気減速の影響を受け、前年同期比約8%減少という結果に終わりました。製品ごとの内訳では、精密モーター軸受用を主用途とする粉末冶金向け金属粉は前年同期比6.8%の減少、電子部品材料向け微粉末金属粉は、特に海外顧客の在庫調整の影響から前年同期比16.3%の減少となりました。

また、前年同期と比べ、製造・販売両部門における体制強化のための人員増等の先行投資に伴う経費増も収益減少の一因となっております。

その結果、当第1四半期の売上高は前年同期比10.3%減少の1,031百万円、営業利益は52.9%減少の73百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、受取手形及び売掛金及びたな卸資産の増加がありましたが、現金及び預金の減少等により、前連結会計年度末に比べ119百万円減少し、7,145百万円となりました。

負債につきましては、日本アトマイズ加工(株)の完全子会社化に伴う借入金及び負ののれんの増加等により、前連結会計年度末に比べ606百万円増加し、3,398百万円となりました。

純資産につきましても、日本アトマイズ加工(株)の完全子会社化に伴い、少数株主持分が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ726百万円減少し、3,747百万円となり、自己資本比率は52.4%になりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の見通しにつきましては、前記「連結経営成績に関する定性的情報」の項で述べましたとおり、第1四半期において特に金属粉末事業の不調が響き前年同期比減収減益となりましたが、現時点では業績予想の修正を必要とするほどの大きな変動が生じておりませんので、平成20年5月15日公表の業績予想を据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、営業利益、経常利益は1,364千円減少し、税金等調整前四半期純利益は、14,154千円減少しております。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	667,000	1,045,404
受取手形及び売掛金	1,945,742	1,871,233
有価証券	1,000	1,000
製品	746,189	662,392
半製品	416,815	367,505
原材料	641,336	590,076
その他	120,634	108,052
貸倒引当金	△6,093	△5,972
流動資産合計	4,532,623	4,639,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	674,080	686,289
機械装置及び運搬具(純額)	553,715	573,905
土地	812,378	812,378
その他(純額)	68,267	60,568
有形固定資産合計	2,108,441	2,133,141
無形固定資産		
その他	23,181	21,553
無形固定資産合計	23,181	21,553
投資その他の資産	481,731	471,545
固定資産合計	2,613,354	2,626,240
資産合計	7,145,978	7,265,933
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	941,815	850,486
短期借入金	852,625	671,250
未払法人税等	59,736	155,186
賞与引当金	39,558	92,386
その他	295,710	273,801
流動負債合計	2,189,446	2,043,111
固定負債		
長期借入金	568,000	300,000
引当金	311,308	348,843
退職給付引当金	285,201	282,051
その他の引当金	26,107	66,792
負ののれん	156,946	2,253
その他	172,336	96,863
固定負債合計	1,208,591	747,959
負債合計	3,398,038	2,791,071

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	564,725	564,725
利益剰余金	2,179,006	2,151,186
自己株式	△20,460	△20,187
株主資本合計	3,741,398	3,713,851
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,541	7,797
少数株主持分	—	753,213
純資産合計	3,747,940	4,474,862
負債純資産合計	7,145,978	7,265,933

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	2,391,752
売上原価	2,055,282
売上総利益	336,470
販売費及び一般管理費	189,518
営業利益	146,952
営業外収益	
受取配当金	1,853
負ののれん償却額	7,680
その他	2,415
営業外収益合計	11,949
営業外費用	
支払利息	8,052
その他	1,103
営業外費用合計	9,156
経常利益	149,745
特別損失	
固定資産除却損	3,589
たな卸資産評価損	12,790
特別損失合計	16,379
税金等調整前四半期純利益	133,365
法人税、住民税及び事業税	60,668
法人税等調整額	△2,072
法人税等合計	58,596
少数株主利益	3,883
四半期純利益	70,885

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	133,365
減価償却費	66,513
負ののれん償却額	△7,680
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△52,827
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,500
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,149
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△40,685
受取利息及び受取配当金	△1,860
支払利息	8,052
有形固定資産除却損	3,589
売上債権の増減額 (△は増加)	△74,508
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△188,654
仕入債務の増減額 (△は減少)	91,328
その他	79,865
小計	12,269
利息及び配当金の受取額	1,867
利息の支払額	△6,335
法人税等の支払額	△153,064
営業活動によるキャッシュ・フロー	△145,263
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△1,000
有価証券の償還による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出	△59,479
有形固定資産の除却による支出	△7,108
子会社株式の取得による支出	△575,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△642,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	460,000
長期借入金の返済による支出	△10,625
自己株式の取得による支出	△273
配当金の支払額	△17,229
少数株主への配当金の支払額	△22,725
財務活動によるキャッシュ・フロー	409,147
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△378,404
現金及び現金同等物の期首残高	1,045,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	667,000

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日～6月30日)

	アンチモン事業 (千円)	金属粉末事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	1,368,983	1,022,769	2,391,752	—	2,391,752
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	—	8,435	8,435	△8,435	—
計	1,368,983	1,031,204	2,400,188	△8,435	2,391,752
営業利益	71,965	73,789	145,755	1,196	146,952

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日～6月30日)

当社グループは、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店等がないため該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日～6月30日)

当社グループの海外売上高は、連結売上高に占める割合が10%未満でありますので、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	2,515,320
II 売上原価	2,093,354
売上総利益	421,965
III 販売費及び一般管理費	189,646
営業利益	232,318
IV 営業外収益	
受取利息・受取配当金	1,860
その他	8,680
営業外収益合計	10,540
V 営業外費用	
支払利息	7,015
その他	691
営業外費用合計	7,706
経常利益	235,152
VI 特別利益	—
VII 特別損失	—
税金等調整前四半期純利益	235,152
法人税、住民税及び事業税	110,133
法人税等調整額	△5,304
少数株主利益	44,197
四半期純利益	86,125

(2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	235,152
減価償却費	53,223
のれん償却額	7,084
負ののれん償却額	△563
退職給付引当金の増加額	3,448
役員退職慰労引当金の増加額	1,777
賞与引当金の減少額	△11,371
役員賞与引当金の減少額	△6,600
貸倒引当金の増加額	425
受取利息及び受取配当金	△1,860
支払利息	7,015
為替換算差益	△26
売上債権の増加額	△135,718
たな卸資産の減少額	4,935
仕入債務の減少額	△31,490
その他	29,621
小計	155,053
利息及び配当金の受取額	1,863
利息の支払額	△4,953
法人税等の支払額	△172,611
営業活動によるキャッシュ・フロー	△20,648
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	△1,000
有価証券の償還による収入	1,000
有形固定資産の取得による支出	△22,005
無形固定資産の取得による支出	△485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,490
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額	60,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△330,625
自己株式の取得による支出	△1,102
配当金の支払額	△18,613
少数株主への配当金の支払額	△27,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△217,611

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	26
V 現金及び現金同等物の減少額	△260,724
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,058,231
VII 現金及び現金同等物の期末残高	797,507

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

	アンチモン事業 (千円)	金属粉末事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高	1,372,052	1,149,709	2,521,761	△6,441	2,515,320
営業費用	1,298,270	992,946	2,291,217	△8,215	2,283,001
営業利益	73,781	156,762	230,544	1,774	232,318

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

当社グループは、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び在外支店等がないため該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

当社グループの海外売上高は、連結売上高に占める割合が10%未満でありますので、記載を省略しております。